



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第7号

新発田市上今泉 366 番地 1 ㉞ 33-2435

児童数 280 人 (H30.11.13 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>

「将来なりたい職業」と「夢を与える職業」について

教頭 桐生 照久

小学生の「将来なりたい職業」ランキングトップ10（*小学生「夢をかなえる」作文コンクール日本FP協会より）男女別のなかで「教師」は、女子の第9位にランクインしています。ここ数年の経緯をみると年々ランキング順位は下がり、今年はランキング外になる可能性があります。数年前までは男女とも上位になっていたにもかかわらず、ここ数年の不人気ぶりが結果となっています。

中学生の職場体験で7月に一人、大学の教育実習で今月一人、合計二人の卒業生が小学校での体験・実習にきました。偶然にも二人とも「幼稚園の先生になりたい」との夢を持っていました。「小学校の先生の選択肢はありますか」と聞くと、二人とも「考えていません」との返答でした。

こうした「将来なりたい職業」からの不人気は、小学生から成長する思春期にさらに現実のものになっているようです。小学生が一番身近で職業を観察している存在であり、一番の職場見学をしている存在でもあります。そうした子どもたちに「夢を与える職業」になっていなかったとしたら、我々にも大きな責任があるのかもしれませんが。教師という仕事がいかに人を引きつけるものかを自分の言葉で伝えてきたでしょうか。また、その姿に魅力を感じさせることをしてきたでしょうか。なによりも、自分自身が子どもたちと学び合う楽しさを共に実感してきたでしょうか。そんなことを考えながら、子どもたちに「夢を与える職業」の難しさと責任を振り返っています。

前述の職場体験をした中学生は、体験後に次のような感想を寄せてくれています。

『（略）私は教えることの楽しさが分かりました。楽しさは間違いを見つけることです。間違いを見つけることで、間違いを教えて、また考えてもらうことで正解に近づいてもらうのがすごく気持ち良く、どんどん教えたくくなりました。質問の時に先生になる人が減っていることを知って、私も先生に興味がありました。私ももっと勉強して先生の道へ進んでみたいくなりました。これから職場体験で学びました教えることの大切さを忘れないよう、学校でもいろいろな場面で人に教えられるような人になりたいです。』

「教師」に限らず、「将来なりたい職業」には、なにかわくわくするようなきめきやきらきら輝く未来のようなものがあるのかもしれませんが。そのきっかけを与えられる場にいることを自覚しながら、子どもたち一人一人に夢を与えていくことができたならば、自分自身もきっと輝けるはずであると考えています。

それは、加治川小学校の「瞳輝き 笑顔あふれる学校」には、「夢を与える職業集団」であることが求められているのかもしれませんが。